

食育だより

平成29年1月

尾道市立向東小学校 No. 8

文責 栄養教諭(家部)

暖かいと思っていた今年の冬、急に雪が降り例年の寒さがやってきました、インフルエンザも流行っていますが、元気な児童も多くいます。廊下で出会う子どもたちは、「きょうの給食は、何?」、「あしたの給食は、?」と、よく聞いてきます。「給食を楽しみにしてくれているの。」と声をかけると、ほとんどの児童が、元気よく「うん。」と答えてくれます。幸せを感じる瞬間です。向東小学校の給食は、調理担当の職員たちの「おいしい給食をつくりたい。」という気持ちとチームワークの良さが、そのまま味に表れています。3学期はまとめと次の学年への準備の学期です。子どもたちに元気をもらい、毎日を大事に過ごしていきたいと考えています。

1月24日~30日は、全国学校給食週間です。

明治22年から始まった給食は、第二次世界大戦で一時中止になりました。戦争が終わり、昭和21年ユニセフの救援物資によって給食が再開されました。単なる栄養補給であった学校給食も教育活動の一環として位置づけられ、現在は、食育が重要視されるようになりました。その食育は、「バランスのとれた栄養摂取」「食事を通じた人間形成」「マナーの習得」「地産地消による地域振興」「食文化の伝承」など、大きな役割を担っています。いつも何気なく食べている給食ですが、児童の口に入るまでには、生産者の方をはじめ、さまざまな人の協力があります。そんな方々に感謝の思いを持てるようにしましょう。



縦割り班ランチルーム給食、継続中です!!

3学期に入り、新たな組み合わせでの縦割り班ランチルーム給食を実施しています。

いつもの給食時間とは少し様子が違うため、いつもよりもはしゃいでしまったり、上の学年の人に遠慮をしたり、また、下の学年を気遣ったりなど教室では見られない児童の姿を見ることができます。

先日、「食事の時に一番大事なことについて」みんなで話しました。「食事の時に一番大事なことは、何だと思いますか。」と子どもたちに聞くと「姿勢よく食べる。」「よくかんで食べる。」「箸をちゃんと持って食べる。」「マナーよく食べる。」など、いろいろなことを発表します。「食事の時に一番大事なことは、楽しく食べること。」という、皆一様に意外な顔。でもその後、急に踊りだしたり、一段と大きな声で話したりする児童がいました。「楽しいという基準は、皆それぞれ違うため、自分が楽しいと思って周りの人の楽しいも考えて、食事をしていきましょう。楽しく食べると食べ物に含まれる栄養素が、よりよく体の中で働いてくれるから。」と話しました。健やかな成長のために楽しく食事をしましょう。